

組編成について

秋田好枝

園児募集、身体検査、入園前保護者会と、入園前の行事が終ると、どの園においても、今年の組編成をどのようにしていけば、幼児にも教師にも重荷を負わさないで、スムーズに集団に受け込んでゆけるかと考えられることと思います。

私の園は、一年保育児だけの収容でありますし、保育室の不足のため、一学期ごとにへやの交換をしているので、私が考えた、理想とする組編成が現在のところ不可能な状態であります。幼児数の減少とか、園舎の建設の出来た時には、最も理想とする組編成をしてゆきたいと思っております。

私が考えている組編成について述べてみましょう。

◎組編成のいろいろ

イ、平等割

幼児の生年月日順に、各クラスに平等に分けたもの。早生まれの幼児も、遅生まれの幼児も各クラスに入る。(現在本園実施)

ロ、生年月日別

四、五、六月生まれの幼児を一組に、五、六、七月生まれの幼児を一組にというように生年月日順に分けたもの。

ハ、生年月日別から平等割へ

集団になれる間、生年月日別に編成し、後平等割に編成するもの

ニ、特別組編成から平等割へ

入園後二週間余りを平等割とし、この期間をテスト期間とし、幼児の基本的習慣テスト、生活能力テスト、性行、行動観察、家庭環境調査をして、特別組を編成する。他の幼児は平等割とし、一学期後に平等割に編成するもの。(現在岡山県倉敷市立西阿知幼稚園実施)

ホ、能力別平等割

入園前の保護者会の際、質問紙法にて、社会性、基本的習慣について父兄に記入してもらい、これを三段階に分け、その平等割にしたもの。(昨年度本園で実施)

ヘ、地域別

地域地域により編成するもの。

以上六つ方法をのべてきましたが、これらの長所、短所を考察し

てみましょう。

◎ 組編成の長所短所

(イ) 平等割

・長所 早生まれの幼児は精神的にも身体的にも遅生まれの幼児に比較してあらゆる面に幼稚であるが、遅生まれの幼児に刺激されて相当高められてくる。

・短所 早生まれの幼児には、あらゆる面で抵抗を感じ、劣等感をもち、消極的になりやすい。遅生まれの幼児の中に優越感をもつこともある。園全体の中に片寄った組が出来る。教師としては発達段階にたいへんな差があるので取扱いにくい。

(ロ) 生年月日別

・長所 幼児の精神的、身体的な面がほぼ同じであるから抵抗を感じず、劣等感とか消極的にはあまりならない。教師の取扱いも一応揃っているので保育しやすい。

・短所 全園としてクラス・クラスに差が出来る。殊に早生まれの組は非常に幼稚で発展性がない。

(ハ) 生年月日別から平等割へ

・長所 入園当初の抵抗がなく集団に溶け込んでゆくことが出来る。平等割への移行により早生まれの幼児には刺激もあり

発展性も出来る。

・短所 組替えのために教師が事務的に繁雑である。

(ニ) 特別組編成から平等割へ

・長所 社会性、基本的習慣など大体同じようなグループであるから、劣等感、消極的などところがない。何でもやろうという意欲がつよい。移行により刺激もあり発展性も出来る。移行後の教師は取扱いに手数がかからない。

・短所 父兄の理解に抵抗を感じる。当初の教師の取扱いがむずかしく、帳簿などの事務的な繁雑さがある。

(ホ) 能力別平等割

・長所 大体平等割と同じ、組の片寄りが余りない。

・短所 大体平等割と同じ、父兄の記入に幼児の見方に誤差がある。

(ヘ) 地域別

・長所 幼児の交友が早く成立し、進路に便である。地域の環境に即した指導が出来る。

・短所 組編成に人数の片寄りが出来る。他の地域の幼児との交渉が出来ない。

以上の長所・短所を私は考えてみたのでありますが、大別して短所が幼児と教師にあるもの、教師のみにあるもの、幼児のみにあるもの、と三つに分けることが出来ると思います。私も保育者はま

ず幼児のことを一番に考えてゆかなければなりません。安定感をもたせ、無理なく保育を受けることの出来る組編成を考えて、明るくのびのびとした子どもをつくるのが私どもに課せられた任務であると思います。

入園当初から負わされた暗い劣等感を小学校まで持続けぬよう、たとえ教師が事務的に繁雑であろうとも、これを克服して、幼児のために精進してゆきたいものと考えます。

組編成をしたものが必ずしも動かされないものでもなく、園の状態によっては教師の話し合いで、時には消極的な幼児のグループに、能力別にと……また二組が隣り同志の組で絶えず教師の話し合いでグループに分けて保育が出来ると思います。

これらの方法以外に、二年保育の場合、一年保育児との混合の場合にも種々問題があると思いますが、一年保育児を対象として考えてみました。

次に私は、教師とクラスの雰囲気について述べてみましょう。教師の中にも幼児が一人ひとり異なるように、それぞれの性格が違います。

私どもは常に、幼児は教師の鏡であると思っています。遊んでいる時の幼児の物の言い方、動作はまるで教師とそのままだと、ハット思うことがしばしばあります。教師のいろいろのかたと

クラスの傾向を私を感じていることを書いてみましょう。

○口数の少ない教師

幼児の行動にいちいち口出しをしないで見守っている子どもたちはのびのびとして幼児相互の生活がうまく自主的である。

○口数の多い教師

幼児の行動にいちいち口出しをするので何かする時に先生のことをきかなければ行動が出来ない。のびのびしたところが少なく、自主的に行動が出来にくく、依頼性が強い。

○消極的な教師

何事にも控えめな先生と同じく幼児の行動も消極的でのびのびしたところがなく、幼児自体に自信がない。

○子どもの気持になりすぎず教師

子どもの気持に余りにもなりすぎ甘やかし過ぎる時に、組全体にしまりがなく、優越感を持ち、横暴な態度をとるが、自主的で社会性が拡がり生活が楽しそうである。

○明るく朗らかな教師

幼児たちの生活が生きいきとして全体に明るく、日々の生活が楽しそうである。

○転ばぬ先をする教師

何かすれば危ないといいち心配をして注意されるので、消極的に

なり、自主的でなく依頼性が強い。

これらは代表的な性格面から述べたのでありますが、このほか
に技術面においても、音楽の好きな教師、絵画のすきな教師、リ
ズム遊びの好きな教師とそれぞれ、得手不得手があると思いま

す。教師の好ききらいが、長い間には幼児に影響してきているとい
つも感じております。
私どもはよりよき教師になるように、自分自身をみがいてゆかな
ければ幼児に思いがけない汚点をつけたり、ゆがめた性格を植えつ
けたりするのではないかと思います。 (岡山・伊島幼稚園長)

本園の組編成



× × ×

小島文雄

他の勤労家庭の子どもであります。

本園の施設

園地 三六一坪、運動場 一八〇坪

園舎 一四四坪

内訳 保育室六室(三室はテラス付) 約六〇坪

遊戯室一室 三五坪

その他 四九坪

本園は人口約八万の小都市にあり、市内には、幼稚園が国立一
(大学付属)、公立一一(小学校付設)、私立六、保育所が公立四、
私立三、その他児童厚生施設二、の計二七施設があります。最近
合併した周辺地区を除くと、小学校就学児の一〇〇%がこれらの
施設を経ています。

本園は市の繁華街から離れた静かな住宅地にある、寺院と併立
する学校法人の私立幼稚園で、園児の大部分が会社員、工員、そ

組の編成

定員一八〇名を六組に分けて、次の表のようにします。